



名取武一議員

境メガソーラー計画について

アクセス等の手順を見守る

質問：・・・樹木を伐採してまでメガソーラーを設置するのはいかがなものか」という町長の気持ちに関係集落に伝え、決断を後押しすることはできないか。

町長：・・・情情的には28haの木を切つて自然を壊すということは忍び難いが、地権者と民間業者との間の契約に不備がないかぎり、町の権限でやめるということとは言えない。

質問：・・・編笠山から見た計画地は、信濃境・高森の集落の広さにも匹敵し、景観破壊とな

る。八ヶ岳観光圏の発展のためにもマイナスになるが。

町長：・・・地権者は高齢化集落になり、林をこのまま放置しておけば、景観破壊になるとの意見もある。レノバ社は20年後にパネルを撤去、植林し、景観を復活させると言っている。

質問：・・・計画地の水は今までは切掛沢川には落ちていなかったのに、28haの水を沢に落とそうとしている。流域には、土砂災害特別警戒区域がある。ここに新たに水を流すことは危険であり、町民の安全のために町長が判断すべきではないか。

町長：・・・設計者、評価、検査する人たちがあらゆる角度から分析する必要はある。

質問：・・・レノバ側の資料は再検証すべきであり、地元の地勢に詳しい大学の先生などの知恵を借りるべきでは。

町長：・・・レノバ社側の資料はまだ調査不十分で、納得できる状態にないと認識している。学識経験者、セカンドオピニオンの意見を待つとともに、いずれにしても県の環境影響評価条例に基づき、環境アクセスの一年ほどかかる手順に基づくことになる。その手順を見守りたい。

■マイナンバー制度について

質問：・・・マイナンバー制度について、町民の理解が深まっているとは思えない。説明会を開くべきでは。

町長：・・・町がやっている広報、番号通知カードに入っている説明資料で説明が尽くされていると思う。

【その他の質問】

○特殊出生率について

○町の文化遺産の保存について



矢島 尚議員

境メガソーラー計画の現状は

関係区長すべての了解を受けない限り事業は進まない

質問：・・・計画に対する現在の現状は、近隣住民の大半がレノバ社、土地所有者から計画説明を聞いていないが、それでいいのか、町の太陽光発電に対するガイドラインに効力はあるのか。また補償については。

町長：・・・近隣区長からの承諾は現在受けていない。関係区長すべての了解を受けられない限り事業は進まない。できるだけ多くの住民が知るべきだが町が説明会を周知する立場にない。レノバ社にはリスクも

開示した説明会を確実に開くよう求めている。町のガイドラインは、二千㎡以下の小型のものも把握し、事前の説明等を求めるもの。補償について町との契約はないが、影響が出れば即原状復帰する。覚え書でもレノバ社にとっては効果があると考

■子ども達の習い事などに補助制度の考えは

質問：・・・子育て環境の充実には、子ども達を対象にした学習塾や習い事、スポーツ教室、大会など学校外教育に世帯所得に応じ月謝や交通費を補助する考えはないか。

教育長：・・・スポーツや学習活動は各家庭の教育方針、子どもの希望により進めている。価値観や子育ての多様化で個人の自由選択と責任で行っている中、補助は考えていない。大会への交通費については、中学校の南信大会以上スクールバスで対

応。また部活入部者に千円補助、全国大会出場者へは三千円の激励金を渡している。

■町内公共施設駐車場について

質問：・・・障害者用スペースが少ないのではないかと。また高齢者向けスペースを確保できないか。

町長：・・・現在のところは駐車場の白線が消えているが今後の対応は。

町長：・・・白線は早急に対応する。

質問：・・・JR信濃境駅出入り口前右側、ロータリースペースが活用されていないが、整備し駐車場または、ロータリースペースとして活用するために移動可能か。

産業課長：・・・駅前や駅西側に駐車場を確保しており不足との声はない。区長や環境整備している有志の意見を聞き検討する。